

品目別レポート（コメ、包装米飯等¹、米粉等²）

■品目説明

我が国のコメの消費量が毎年約 10 万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題となっている（農水省）。近年、包装米飯等の加工食品や、小麦粉と同じような用途に対しグルテンを含まない原材料として用いることができる特性を生かした米粉としての利用も注目されている。

19 年産の生産量は、主食用米 726 万 1,000 トン（同 0.1%減）、新規需要米は 43 万 9,544 トン（同 7.1%減）であった（農林水産省「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」「令和元年度新規需要米生産集出荷数量」）。

コメの小売り市場規模（2019 年）は全世界で 730 億 8,500 万ドルとされており、地域別にみると、アジア大洋州 447 億 7,000 万ドル、中東・アフリカ 107 億 4,600 万ドル、ラテンアメリカ 86 億 9,500 万ドル、北米 36 億 500 万ドル、西ヨーロッパ 35 億 9,000 万ドル、東ヨーロッパ 13 億 5,500 万ドル、オーストラレーシア（注）3 億 2,400 万ドル（ユーロモニター・インターナショナル調べ）。

注：オーストラレーシア：オーストラリア大陸・ニュージーランド北島・ニュージーランド南島・ニューギニア島およびその近海の諸島（インドネシアの領域を含む）を指す地域区分。

■貿易概況

〔コメ〕

日本からの米の輸出は、その数量の大部分が政府米を利用した食糧援助（KR）として行われている。アフリカ、アジアを中心とした国への食糧援助および国際連合の食糧援助機関である国連世界食糧計画（WFP）を通じた援助などによる。食糧援助を含めた米の輸出数量は 19 年に 4 万 8,688 トン（前年比 6.8%増）であった（表 1）。

¹ 本稿では統計分類上、トウモロコシ以外の穀物を原料とした各種穀物加工品を含む。

² 本稿では統計分類上、小麦粉、トウモロコシ粉以外の穀粉なども含まれる。

▼表1：日本のコメ輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	9,066,322	4,128	10,501,424	4,690	12,591,590	5,436	19.9	15.9
シンガポール	5,724,489	2,861	6,279,594	3,161	7,354,059	3,879	17.1	22.7
米国	2,852,176	986	3,650,310	1,282	4,975,711	1,980	36.3	54.4
モーリタニア	1,199,657	2,991			3,807,188	9,130	-	-
台湾	3,120,901	943	3,559,471	1,173	3,767,035	1,262	5.8	7.6
全世界	38,812,537	35,529	46,540,445	45,567	55,665,788	48,688	19.6	6.8

注：対象はHSコード 1006

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

▼表2：日本のコメ輸出（商用米）

(単位：百万円、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	1,016	4,128	1,160	4,690	1,372	5,436	18.3	15.9
シンガポール	642	2,861	694	3,161	802	3,879	15.5	22.7
米国	320	986	404	1,282	543	1,980	34.4	54.4
台湾	350	943	394	1,173	411	1,262	4.4	7.6
中国	97	298	211	524	363	1,007	72.2	92.2
全世界	3,198	11,841	3,756	13,794	4,620	17,381	23.0	26.0

注：対象はHSコード 100610, 100620, 100630, 100640（政府による食糧援助を除く）

出所：農林水産省「商業用の米の輸出数量等の推移」

このうち19年の商業輸出は、輸出額46億2,000万円（同23.0%増）、輸出货量1万7,381トン（同26.0%増）と金額、数量ともに増加した（表2）。輸出相手国・地域別では数量ベースで香港向け5,436トン（同15.9%増）、シンガポール向け3,879トン（同22.7%増）、米国向け1,980トン（同54.4%増）と前年に引き続き大幅な伸びをみせ、さらに台湾向け1,262トン（同7.6%増）などが続いた。

なお、新潟県産精米については、2018年11月28日以降中国向けに輸出できるようになったが、9都県で生産されたコメは引き続き輸入停止中だ。

〔包装米飯等〕

19年の日本の包装米飯等の輸出は金額ベースで前年比5.2%増の536万ドルであった（表3）。数量ベースでは同8.0%増の1,129トンと、金額・数量ともに前年から増加している。輸出相手国・地域で見ると、1位は米国で、金額ベースで156万ドル（同3.8%増）、数量ベースでは449トン（同6.1%増）、2位は香港で金額ベースは104万ドル（同44.8%増）、数量ベースは181トン（同58.8%増）、

3位はベトナムで金額ベースは72万ドル（同5.0%増）、数量ベースは82トン（同14.6%減）であった。

▼表3：日本の包装米飯等輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	1,216,361	345	1,508,039	423	1,565,420	449	3.8	6.1
香港	432,917	58	719,967	114	1,042,714	181	44.8	58.8
ベトナム	480,450	69	689,415	96	724,128	82	5.0	△ 14.6
台湾	460,125	53	466,627	82	678,803	140	45.5	70.7
中国	98,150	22	208,429	35	417,828	103	100.5	194.3
全世界	4,005,659	774	5,096,900	1,045	5,360,420	1,129	5.2	8.0

注：対象はHSコード 1904.90 (Cereals, Other Than Corn (Maize), In Grain Form, Pre-Cooked Or Otherwise Prepared, N.E.S.O)
出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

〔米粉等〕

▼表4：日本の米粉等輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	233,245	53	253,306	61	386,563	108	52.6	77.0
タイ	167,377	42	177,436	45	202,912	50	14.4	11.1
台湾	102,415	21	116,955	18	97,472	15	△ 16.7	△ 16.7
シンガポール	60,760	3	58,886	3	56,668	3	△ 3.8	0.0
中国	13,872	0	14,500	0	42,732	0	194.7	-
全世界	677,991	135	793,593	162	906,025	201	14.2	24.1

注：対象はHSコード 1102.90 (Cereal Flours Other, Nesoi)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年の日本の米粉等の輸出は金額ベースで前年比14.2%増の90万ドルであった（表4）。数量ベースでは同24.1%増の201トンと、金額・数量ともに前年から増加している。輸出相手国・地域で見ると、1位は米国で、金額ベースで38万ドル（同52.6%増）、数量ベースでは108トン（同77.0%増）、2位はタイで金額ベースは20万ドル（同14.4%増）、数量ベースは50トン（同11.1%増）、3位は台湾で金額ベースは9万ドル（同16.7%減）、数量ベースは15トン（同16.7%減）であった。

■海外事情

[コメ]

●香港

19年の香港のコメ輸入額は前年比0.3%増の2億9,828万ドル、輸入量は同2.8%減の31万6,945トンであった(表5)。

▼表5：香港のコメ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
タイ	165,069,958	216,821,229	187,949,429	182,377,927	183,882,648	164,752,400	△ 2.2	△ 9.7
ベトナム	28,554,531	51,087,130	47,533,276	76,035,956	55,673,856	89,934,583	17.1	18.3
中国	11,801,902	14,526,883	18,259,321	23,031,213	16,508,146	22,597,295	△ 9.6	△ 1.9
日本	8,926,137	4,028,543	9,997,933	4,506,330	12,493,308	5,389,414	25.0	19.6
カンボジア	8,941,393	14,235,258	11,416,321	14,206,535	8,834,376	10,263,855	△ 22.6	△ 27.8
全世界	249,973,473	334,899,038	297,353,834	326,124,889	298,283,892	316,945,619	0.3	△ 2.8

注：対象はHSコード 1006

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

主要輸入相手国の動向をみると、1位のタイは金額ベースで1億8,388万ドル(前年比2.2%減)、数量ベースで1億6,475万トン(9.7%減)であり、それぞれ全体の61.6%、51.9%を占めた。2位のベトナムは金額ベースで5,567万ドル(同17.1%増)、数量ベースで8万9,934トン(同18.3%増)であり、以下、中国、日本、カンボジアと続いた。

香港での輸入米のほとんどは精米で輸入され、業務用の割合が高いが、大部分が長粒米である。長粒米は、タイ、ベトナムが主な輸入元であり、短粒米は中国、日本、オーストラリア、米国、台湾などから輸入されている。

日本産米は、生産・流通現場などでのコスト削減や新規需要米の作付けなど日本側での取組みに加え、現地精米や保管環境改善などによる品質維持、香港人の嗜好に合う品種選定、香港人への業務用炊飯方法などの教育や支援、小売店でのプロモーション、ネット通販での販路拡大など輸入側での取組み、そして現地での日本料理店の人気などを背景として、高級日本料理店のみならず、比較的カジュアルな日本料理店での使用も拡大してきており、輸入額を伸ばしている。

現在の香港における短粒米のマーケットは、輸入量全体の1割程度といわれている。日本産米の用途は8～9割程度が業務用、その他は小売用といわれる。近年、日本を訪れる香港人観光客の数が増加しており、本物の日本料理に触れる機会が増加していることに伴い、日本産米へのニーズは徐々に拡大している。

●シンガポール

19年のシンガポールのコメ輸入額は前年比6.6%増の2億3,853万ドル、輸入量は12.0%増の32万2,519トンであった(表6)。主な輸入相手国は、1位がタイで、輸入額と輸入量はそれぞれ1億118万ドル(同5.0%減)、9万6,758トン(同11.1%減)、2位がインドで5,464万ドル(同11.2%増)、8万8,656トン(同17.7%増)、3位がベトナムで5,105万ドル(同13.4%増)、9万4,141トン(同21.8%増)であった。4位の日本についても、輸入額・量ともに伸長した。

▼表6：シンガポールのコメ輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
タイ	95,968,579	129,607	106,513,095	108,889	101,185,973	96,758	△ 5.0	△ 11.1
インド	55,740,875	93,549	49,145,914	75,355	54,645,521	88,656	11.2	17.7
ベトナム	40,162,344	75,533	45,030,782	77,260	51,059,013	94,141	13.4	21.8
日本	6,121,570	3,056	6,699,938	3,325	7,861,822	4,155	17.3	25.0
カンボジア	3,401,116	5,230	4,622,348	5,894	6,522,814	8,038	41.1	36.4
全世界	213,661,068	324,023	223,836,689	288,022	238,537,853	322,519	6.6	12.0

注：対象はHSコード 1006

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

〔包装米飯等〕

●米国

▼表7：米国の包装米飯等輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
カナダ	60,229,353	27,594	77,954,954	35,325	86,048,497	39,911	10.4	13.0
韓国	9,011,177	3,024	12,538,397	4,283	18,579,557	6,362	48.2	48.5
タイ	7,198,389	1,847	12,037,238	3,730	17,717,028	5,904	47.2	58.3
ペルー	6,711,300	2,192	10,219,689	3,777	10,736,858	2,740	5.1	△ 27.5
スペイン	13,464,470	4,709	12,518,522	3,817	10,200,045	3,113	△ 18.5	△ 18.4
日本 (14位)	1,048,312	312	1,456,765	419	1,500,987	429	3.0	2.4
全世界	133,521,392	55,197	166,299,446	68,315	180,997,328	72,008	8.8	5.4

注：対象はHSコード 1904.90 (Cereals, Other Than Corn (Maize), In Grain Form, Pre-Cooked Or Otherwise Prepared, N.E.S.O

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年の米国の包装米飯等輸入額は前年比8.8%増の1億8,099万ドル、輸入量は同5.4%増の7万2,008トンであった(表7)。主要輸入相手国の動向をみると、1位のカナダは金額ベースで8,604万ドル(前年比10.4%増)、数量ベースで3万9,911トン(同13.0%増)であり、2位の韓国は金額ベースで1,857万ドル(同48.2%増)、数量ベースで6,362トン(同48.5%増)、3位のタイは金額ベースで1,771万ドル(同47.2%増)、数量ベースで5,904トン(同58.3%増)であった。

●香港

19年の香港の包装米飯等輸入額は前年比 37.0%減の 1,490 万ドル、輸入量は同 10.1%減の 5,415 トンであった(表 8)。

主要輸入相手国の動向をみると、1位の中国は金額ベースで 1,041 万ドル(前年比 45.4%減)、数量ベースで 4,299 トン(同 11.6%減)であり、2位の韓国は金額ベースで 123 万ドル(同 70.3%増)、数量ベースで 351 トン(同 72.1%増)、3位の日本は金額ベースで 121 万ドル(同 10.2%減)、数量ベースで 249 トン(同 26.3%減)であった。

▼表8：香港の包装米飯等輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	28,758,054	6,450	19,087,302	4,865	10,414,842	4,299	△ 45.4	△ 11.6
韓国	718,398	217	722,664	204	1,230,779	351	70.3	72.1
日本	1,083,286	233	1,356,351	338	1,217,610	249	△ 10.2	△ 26.3
台湾	1,174,518	241	1,101,264	256	926,113	207	△ 15.9	△ 19.1
マレーシア	170,181	57	345,908	104	467,286	140	35.1	34.6
全世界	34,535,583	7,834	23,675,923	6,026	14,909,953	5,415	△ 37.0	△ 10.1

注：対象はHSコード 1904.90 (Cereals, Other Than Corn (Maize), In Grain Form, Pre-Cooked Or Otherwise Prepared, N.E.S.O)
出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

[米粉等]

●米国

▼表9：米国の米粉等輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
カナダ	12,075,575	16,028	12,981,589	18,255	14,572,859	20,614	12.3	12.9
タイ	8,792,130	9,438	8,819,607	8,782	10,843,521	10,348	22.9	17.8
インド	6,125,757	7,354	8,541,572	10,584	7,741,293	9,452	△ 9.4	△ 10.7
イタリア	1,480,107	971	1,803,821	1,103	1,682,630	909	△ 6.7	△ 17.6
南アフリカ	372,858	290	1,054,879	756	1,602,508	1,217	51.9	61.0
日本 (10位)	169,050	45	339,274	127	433,970	176	27.9	38.6
全世界	34,744,887	37,681	39,069,154	42,684	42,703,779	46,046	9.3	7.9

注：対象はHSコード 1102.90 (Cereal Flours Other, Nesoi)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年の米国の米粉等輸入額は前年比 9.3%増の 4,270 万ドル、輸入量は同 7.9%増の 4万 6,046 トンであった(表 9)。

主要輸入相手国の動向をみると、1位のカナダは金額ベースで1,457万ドル(前年比12.3%増)、数量ベースで2万614トン(同12.9%増)であり、2位のタイは金額ベースで1,084万ドル(同22.9%増)、数量ベースで10,348トン(同17.8%増)、3位のインドは金額ベースで774万ドル(同9.4%減)、数量ベースで9,452トン(同10.7%減)であった。日本からの輸入は現状10位だが、金額・数量とも大きく増加した。

●タイ

▼表10：タイの米粉等輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
カンボジア	—	—	25,108	33	509,452	715	1929.0	2066.7
オーストラリア	84,589	88	192,239	262	325,316	341	69.2	30.2
日本	218,064	33	225,010	34	244,329	37	8.6	8.8
タイ	—	—	1,563	0	134,787	130	8523.6	—
ドイツ	104,147	88	139,215	148	107,009	107	△ 23.1	△ 27.7
全世界	540,192	297	813,731	663	1,468,440	1,419	80.5	114.0

注：対象はHSコード 1102.90 (Cereal Flours Other, Nesoi)

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のタイの米粉等輸入額は前年比80.5%増の146万ドル、輸入量は同114%増の1,419トンであった(表10)。

主要輸入相手国の動向をみると、1位のカンボジアは金額ベースで50万ドル(前年比1,929%増)、数量ベースで715トン(同2,066%増)であり、2位のオーストラリアは金額ベースで32万ドル(同69.2%増)、数量ベースで341トン(同30.2%増)であった。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。